



### 第4回すぎもり地区協議会主催 防災訓練 7つの体験をしよう!



あけましておめでとうございます。

すぎもり地区協議会会長 中島俊子

すぎもり地区協議会活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

昨年は災害の多い1年でした。観測史上まれにみる集中豪雨がいたる所で起こり、あっという間に川が氾濫、土砂崩れが住民を飲み込んでしまう災害もありました。また、北海道では大きな地震が発生し多数の住民が避難所生活を余儀なくされています。この様な災害の時こそ住民の助け合い、見守り、声掛けが必要になりますし、自助、共助、公助の力が大切になります。そこでこれからの防災には若い力と知識がますます必要になります。昨年は初めての試みとして、杉森小学校の3年生と4年生が「起震車体験」「煙体験」「119番通報訓練」「初期消火訓練」「応急手当」等々を体験学習しました。地区教の防災訓練に参加することで、防災意識を高め地域の大きな力になることでしょう。この防災訓練には調布第3中学校の生徒さんも多数参加され、地域にとって大きな存在でした。

若い人達が地域を支え、共助の力が増すことで「すぎもり地域」の絆が強くなることでしょう。今年はペット訓練を通してペット同伴避難ができるようになればと考えております。

どうぞ皆さまこれからもすぎもり地区協議会活動特に「防災活動」に参加し、地域の絆を深めていきましょう。



### 感謝状をいただきました



11月9日(金)、火災予防業務協力者表彰式において、調布消防署より感謝状をいただきました。



第4回すぎもり地区協議会主催の防災訓練が10月13日(土)行われました。今回は、杉森小3年生と4年生の体験学習として実施しました。訓練には、地区協メンバー以外に開放委員会・健全育成推進委員会・地区連合会・PTA・女性防火の会・三中生徒ボランティアと大勢のみなさんにご協力いただきました。学ぶ姿、体験する姿が防災意識を高め、子どもを通して保護者・地域のみなさんにも波及していければよいと思います。

① 起震車体験



② 初期消火訓練



③ 煙体験



⑤ 119番通報訓練



④ 応急手当訓練



⑥ 担架搬送訓練



⑦ AED取扱い訓練

ご協力いただいたみなさん  
ありがとうございました

調布消防署 国領出張所のみなさん



調布市消防団 第七分団のみなさん



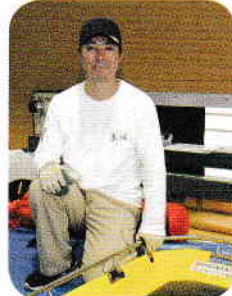
スターツCAM (起震車を提供)  
石田剛志さん、石田滉一さん



調布三中之みなさん



NPO法人災害救難活動  
赤坂さん



## 感想

きしん車体験では、しん度7の時、ジェットコースターに乗っているような感じでとてもやれた。体験してしん人の怖さがわかった。しん消化訓練では、「火事だー!!」の声が小さいと言われたので、もっと大きな声を出したことが大切ということがわかった。

けむり体験では、少しけむりをすって、7、7、7とくしくしくした。マスクもたりにすることには、とても大切だと思った。また、けむりて前が見えなかったから、かがむことも大切だと思った。

119番つうはうしんれんでは、全く住所が言えなかったから、自分の家の住所、学校の住所はおぼえておくことが大切だと思った。

全7の訓練を体験して、もっとおぼえが必要だと思ったり、住所をおぼえる、ハンカチをもつ、様々なことで欠けていた部分があったので、もっとおぼえようと思いました。

## こどもたちから感想をいただきました。

- ・おう急手当は、ビニールぶくろでも役にたつのだなあと思いました。
- ・けむり体験は本物の中に入ったら、口ですったら死んでしまうんだなー。と思って中に入ったら口ですってしまって本当に死にそうになりました。この体験をやってどう身を守ればいいのかわかりました。
- ・AED取扱訓練の心ぞうマッサージが少しつかれました。でも本当にあつたら、がんばります！
- ・きしんしゃ体験が楽しく感じました。でもじっさいのしんだつたらとてもこわいことだなあと思います。
- ・119番くんれんでは燃えている場所がわからない時は大きいたてものの名前を言えばいいことを知りました。
- ・今まで消火器のつかい方をしらなかったもので、教えてもらってこれで火災のときも少しは安心できるかなと思います。
- ・はんそうくんれんは思ったより重くてたいへんだつた。

## +プラス 非常食について学びました。



ぼうしくんれんのみなさんへ、  
いろいろおぼえてくれてあ  
りがとうございました。  
わたしは、AED取扱訓練東が  
心にのこりました人がたお  
れているとき助けてあ  
げようと思いました。  
ていねいに教えてく  
れてありがとうございます。  
ましたうれしかったです。

## 「復旧」「復興」「復幸」

先日、9月6日に起こった胆振東部地震の被災地の厚真町に行ってきました。そこで、厚真中央小学校池田健人校長先生に次の言葉を教えていただきました。元々は、熊本震災当時、広安西小学校長で、現在熊本県山都町教育長を務められている井手教育長の言葉だそうです。

**「復旧」**～堤防や道路など壊れたものを元通りに戻して生活の便利さなどがよみがえるために工事などに取り組むことです。例えば、災害で壊れて電車が通れなくなった線路を、電車が通れるように元通りの形に戻すための作業です。

**「復興」**～元通りの便利さを取り戻すだけでなく、知恵を集めて災害で失ったものや心の傷を乗り越え、もう

調布市立杉森小学校 校長 森田 康之



一度元のような元気を取り戻し活気のある町を目指して発展していくために取り組むことです。

**「復幸」**～「復旧」や「復興」の取組が一日も早く進むことを願うことはいうまでもありません。が、地震より前に当たり前と思っていた幸せにあらためて気づき、もっと幸せな社会をつくっていかうという願いを表していると思います。これは、大人だけだとか工事の専門家の仕事ではありません。例えば、「おはよう」「ありがとう」「大丈夫?」と声にすることは「復幸」に向けた一番の行動です。「復幸」とは、誰にでもできる幸せを探し、その幸せをつくる取組です。

すぎもり地区協は、「復幸」の心配は必要ないですね。

10/21

## 杉森地域運動会 地区協競技「急げ お助け担架！」

秋晴れのもと杉森地域運動会が行われました。

すぎもり地区協議会競技「急げお助け担架！」は、体重35キロの太郎、二郎、三郎君を担架に乗せ、4人一組で力を合わせリレー形式で運びます。途中で担架から人形が落下してしまうチームも多く、「優しく丁寧に安全に救助してください。」のアナウンスに笑いが起こるなど、和やかな楽しい競技となりました。



三体の人形は、鈴木さん、宮本さん 他、地区協議会委員の手作りです



## 杉森オータムコンサート が開催されました

12/2



体育館の入り口付近も楽しげに飾り付けられました！

日曜日の午後、地域のみなさんが楽しみにしているオータムコンサートが今年も華やかに開催されました。多くの方が来場し、杉森小PTAコーラスサークル「かえるクラブ」の合唱、三中吹奏楽部の演奏を楽しみました。

この地域の身近な相談窓口です。お気軽にご相談ください。

福祉や介護に関する相談等は…

## 調布市地域包括支援センター ときわぎ国領



高齢の方やそのご家族が、地域で安心して暮らせるよう、福祉や介護に関する様々な相談ができる総合相談窓口として、調布市から委託を受けている機関です。担当地区は染地2、3丁目、国領町7、8丁目(8丁目1、4番地を除く)です。お電話での相談や、状況に応じて職員がご自宅に訪問することもでき、適切なサービス等をご案内しております。  
(電話) 050-5540-0860 (9:00～18:00)

生活の相談、仲間づくりの相談等は…

## 調布市社会福祉協議会 市民活動支援センター

誰もがいきいきと安心して暮らしていくための生活の相談、趣味やボランティアを通じた仲間づくりの相談の窓口として活動しています。

- 染地地域福祉センター内 ボランティア室  
ボランティアコーディネーター 渡邊久美子  
TEL 481-3790 火～土 9時～17時
- 調布市総合福祉センター内  
地域福祉コーディネーター 中村 竜  
地域支え合い推進員 北島正也  
TEL 481-7693 月～金 9時～17時

■ H31年1月6日(日)

## おもしろあそび



主催：子ども会(申し込み制) 会場：杉森小学校校庭  
獅子舞が来てくれたり、お正月遊びのこま、お手玉、羽根つきなどで遊べます。地域のおじさん達がお餅つきを披露してくれます。つきたてのお餅は、もちろんお雑煮にいただきます。

■ 2月3日(日) ※雨天2月10日

## 耐寒マラソン

主催：4地区健全育成推進委員会  
会場：多摩川河川敷&土手

杉森地区、染地地区、第二地区、布田地区の4つの健全育成推進委員会が合同で行っている、耐寒マラソン。子どもは低学年～高学年まで、それぞれのコースを走ります。中学生以上、おとなの部もあり、3kmを走ります。

■ 2月17日(日)

## スポーツ大会

主催：杉森小学校開放委員会 会場：杉森小学校  
第3回フラバールバレー大会  
どなたでも楽しめる競技ですので、ふるってご参加下さい。

■ 3月29日(金)

## 調布市立第三中学校吹奏楽部 第16回定期演奏会

会場：グリーンホール大ホール 17時30分開演